

シンガポールの自動車事情

4年萩原大輝(21911278dh@tama.ac.jp)

テーマ:自動運転技術がもっと発達したらシンガポールに車やバイクは増えるのか。自動運転技術の導入によって渋滞が緩和、解消されシンガポール政府はCOEを安くするのか。

問題関心:私は車やバイクが好きというところから海外の自動車事情はどうなっているのか気になったため本研究に取り組んだ。

結論:本研究は現在自動車の価値がとても高いシンガポールにおいて、車やバイクの自動運転化により自動車はCOEの値段が下がり自動車を安く買うことができるようになるのか明らかにしたいと思い研究を進めた。

本研究ではシンガポールにおいて車やバイクの自動運転化が進みもっと自動運転の装備が備わっている車の導入されてもCOEの値段が下がることやそれによって自動車が安く買えるようにはならない。

なぜならば、シンガポールにおいて現在自動運転を導入しているがそれは、公共交通機関のためである為である。また前スライドで述べたように、シンガポール政府は自動運転技術の導入は自家用車を減らすためであると述べているためである
そしてバイクはそもそもメーカーが自動運転化を目指しているのではないと提言していることから、バイクの自動運転化という物自体実現しないのではないかと考えられる。